

男児の症例. 日本児童青年精神医学会 47 回総会抄録集 P100、2006

## 2、著書

田中究、石川元：アスペルガー症候群と子ども虐待（現代のエスプリ）、至文堂、東京、（168-175）2006

田中究：虐待と解離性障害、児童青年精神医学とその近接領域、46（511-516）、2005

田中究、前田宏章：虐待を受けた子どもの心理、治療、87（3193-3199）、2005

田中究、藤森和美：医療機関との連携・事例を通して（学校トラウマと子どものこころのケア）、誠信書房、東京、2005（179-201）

## 富田拓

### A、誌上発表

#### 1、論文

富田拓：児童自立支援施設—子ども達は変わったか—。精神科治療学, 21(12);1331-1336, 2006

#### 2、著書

富田拓：児童自立支援施設を知っていますか クレリイエール 2月号 クレリイエール編集部 2008（印刷中）

富田拓：少年院と児童自立支援施設の相違とそこから学ぶべきこと 刑政 7月号 第118巻通巻1381号 p.73-76 矯正協会 2007

富田拓：児童自立支援施設 非行一彷徨する若者、生の再構築に向けて 上里一郎監修 影山任佐編 p.261-272 ゆまに書房 2007

富田拓：発達障害などの精神障害がある非行児童の予後がよいのはなぜか 非行問題 p.104-116 全国児童自立支援施設協議会 2007

富田拓：児童自立支援施設入所児童の精神医学的問題. 小野善郎（編）子どもの福祉とメンタルヘルス, 175-201. 明石書店, 東京, 2006

### B、口演

#### 1、学会発表

富田拓：行為障害の精神療法の可能性—児童自立支援施設での経験から。第18回思春期青年期精神医学会。2005.

富田拓：非行少年は自然の中で立ち直れるのか—北海道家庭学校での経験から。日本野外教育学会。2005.

#### 2、一般講演

札幌市発達障害者支援体制整備事業社会適応部会「発達障害と社会不適応」講演会「矯正

教育の現場から発達障害を考える」2007年11月26日

東北北海道児童自立支援施設研修会「非行臨床の今日的課題—自立支援と矯正教育の協働—」2007年11月15日

日本子ども虐待防止学会「入所ケアにおける被虐待児の育ちの支援体制—攻撃性の問題を中心に—2007年12月15日

## 中板育美

### A、誌上発表

#### 1、論文

中板育美：「子どもの虐待とネグレクト」第9巻第3号 2007

### B、口演

#### 2、一般講演

社会福祉法人 栃木健康福祉協会 日時：平成19年5月21日（月）

場所：栃木健康の森 テーマ：「養育支援が必要な人の早期発見と在宅支援」

社会福祉法人母子愛育会 総合母子保健センター 日時：平成19年6月1日（金）

場所：日本子ども家庭総合研究所 テーマ：「虐待する親および被虐待児の継続的支援」

横須賀市こども育成部 児童相談所・こども健康課合同研修会 日時：平成19年6月15

日（金）場所：横須賀市ウエルシティ市民プラザ テーマ：「乳幼児揺さぶられ症候群について」

平成19年度神奈川県保健福祉部 日時：平成19年6月27日（水）場所：大和市保健福祉

センター テーマ：「親支援グループの検証～再構築のために～」

全国児童相談所長会全体協議会 日時：平成19年7月12日（木）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター テーマ：「児童相談所と市町村との連携～虐待防止に向けた新たな体制づくりのために～」

茨城県母子保健推進検討会 日時：平成19年7月25日（水）場所：茨城県庁

テーマ：「母子保健の現状と課題～こんにちは赤ちゃん事業と育児支援家庭訪問事業」

長野県 日時：平成19年9月29日（土）場所：長野県社会福祉総合センター

テーマ：保健機関が行う親支援グループ

福島県保健福祉部 日時：平成19年10月22日（月）場所：福島県自治会館

テーマ：「子どもの虐待予防サポート推進研修 母子保健事業におけるハイリスク乳幼児を抱える親への支援」

第66回 日本公衆衛生学会 日時：平成19年10月24日（水）

場 所：愛媛県立文化会館

発表者：国立保健医療科学院 公衆衛生看護部 中板育美

テーマ：「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性(第1報 実施状況)」

日 時：平成19年10月24日(水)

場 所：愛媛県立文化会館

発表者：滋賀医科大学医学部看護学科 但馬 直子

テーマ：「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性(第2報 保健と福祉の連携)」

日 時：平成19年10月24日(水)

場 所：愛媛県立文化会館

発表者：東京都町田保健所 藤原 千秋

テーマ：「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性(第3報 有効事例分析結果のまとめ)」

日 時：平成19年10月24日(水)

場 所：愛媛県立文化会館

発表者：埼玉県保健医療部 朝倉 真由美

テーマ：「埼玉県における親支援グループミーティングの取り組みについて」

神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 「児童虐待予防研修」 日時：平成19年10月30日(火) 場 所：テーマ：「妊娠期から児童虐待予防対策」

新潟県健康福祉部 乳幼児虐待予防研修会 日時：平成19年11月12日(月)・12月21日(金) 場 所：長岡市医師会館 テーマ：「要支援家庭を地域で支えていくための新たな体制づくり」

狭山市要保護児童対策協議会 日時：平成19年11月13日(火) 場 所：狭山市立中央公民館 テーマ：「子ども虐待防止のために地域の支えでできること」

宮城県仙台保健福祉事務所 子ども虐待防止研修会 日時：平成19年11月22日(木)

場 所：宮城県シルバーセンター テーマ：「虐待予防と在宅支援～私たちにできること」

岡山県地域保健関係者研修 日時：平成19年11月27日(火) 場 所：岡山衛生会館

テーマ：「保健機関が行う親支援グループ ～保健機関に求められる役割」

岩手県母子保健関係者等子ども虐待防止研修 日時：平成19年11月29日(木)

場 所：岩手県福祉総合相談センター テーマ：「地域ネットワークを生かした在宅支援～支援が成立するということ」

千葉県母子保健担当者子ども虐待防止研修 日時：平成19年11月19日(月)・11月26日(月) 場 所：千葉県庁 テーマ：「虐待の未然防止の推進 死亡事例から見える

## 在宅支援の在り方」

宮城県石巻市子ども虐待対応研修 日時：平成19年12月5日（水）・12月6日（木）

場 所：宮城県石巻合同庁舎 テーマ：「在宅養育支援の在り方・介入のポイント」

「死亡事例と援助者の心のケア」

福井県虐待防止研修 日時：平成19年12月18日（火）場所：坂井健康福祉センター

テーマ：「育児支援家庭訪問事業を通じた個別支援の在り方」

福井県虐待防止研修 日時：平成20年1月24日（木）場所：坂井健康福祉センター

テーマ：「保健機関が行う親支援グループについて」

平成18年10月9日 母子保健専門指導員研修会「親の継続的支援」 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

平成18年2月23日 愛知県母子保健研修 「母子保健の中で取り組むグループミーティング」 愛知県

平成18年2月27日 東京都母子保健研修 「保健機関が親支援を担う意義とグループ評価」 東京都

平成18年2月4日「保健機関が行う親支援グループミーティングの意義と評価 自主フォーラム

親支援グループミーティング関係 平成17年9月2日 保健師等ブロック別研修会の講師 「親支援グループミーティングの実際」 栃木県

平成17年7月16日 「保健機関が行う親支援グループミーティングの意義と評価」 自主フォーラム

平成17年9月4日「保健機関が行う親支援グループミーティングの意義と評価」日本子ども虐待防止学会

## 西澤哲

B、口演

2、一般講演

西澤哲. 司法面接. 明治安田こころの健康財団2005年度集中講座「性的虐待への包括的アプローチ」. 2005年7月

## 藤原 武男

A、誌上発表

1、論文

Fujiwara, T. : The Role of Altruistic Behavior for Generalized Anxiety Disorder and

Major Depression among Adults in the United States. *Journal of Affective Disorders*  
レター (英語)

Fujiwara, T. : Population Strategy to Address Child Maltreatment in Japan. *Public Health*

藤原武男、奥山眞紀子、石井徹仁. (2006) 医療機関における子ども虐待データベースの構築. *日本小児科学会雑誌*, 110(7):926-933.

藤原武男. (2006) 小児虐待と性感染症. *小児科*, 47(9):1313-1319.

B、口演

1、学会発表

国際学会発表

Fujiwara, T. & Okuyama, M. Current effort of child abuse prevention in Japan. *21<sup>st</sup> Annual San Diego International Conference on Child and Family Maltreatment*, San Diego, CA, USA, Jan 22-26, 2007

Fujiwara, T. Distribution of Number of Risk Factors for Child Maltreatment by its Susceptibility. *XVIth ISPCAN International Congress on Child Abuse and Neglect*, York, United Kingdom, Sept. 3-6, 2006

Fujiwara, T. Sensitivity, Specificity, and Odds Ratio of Multiple Risk Factors Score to Distinguish Child Maltreatment. *XVIth ISPCAN International Congress on Child Abuse and Neglect*, York, United Kingdom, Sept. 3-6, 2006

Fujiwara, T. Small for Gestational Age as a Risk Factor for Infant Maltreatment. *International Family Violence and Child Victimization Research Conference*, Portsmouth, NH, USA, July 9-11, 2006

Fujiwara, T. Development of Database on Child Maltreatment Found in Hospitals: What Should We Examine? *20<sup>th</sup> Annual San Diego International Conference on Child and Family Maltreatment*, San Diego, アメリカ合衆国, 1月 23~27 日, 2006.

藤原武男 医療機関における子ども虐待データベースの後方視的構築の有用性に関する研究. 第 11 回日本子ども虐待防止学会, 札幌, 9 月 3~4 日, 2005.

泉 真由子、藤原 武男、石井 徹仁、奥山 眞紀子 医療機関における子ども虐待データベースの後方視的構築の有用性に関する研究. 第 7 回子どもの心・体と環境を考える会, 東京, 12 月 3~4 日, 2005.

官本信也

A、誌上発表

## 1、論文

宮本信也：Ⅲ 4. 痛みの理解とそれへの対応、8. 性分化異常と関係する心理的問題、10. 治療コンプライアンスの問題とその対応 奥山眞紀子編：病気を抱えた子どもと家族の心のケア、東京、日本小児医事出版社、2007、111-118、133-139、146-154

宮本信也：第1章 第2節障害の概要；第3節知的障害；第4節広汎性発達障害；第5節注意欠陥／多動性障害；第6節発達の部分的障害、第3章 第9節末期患児、宮本信也・竹田一則編著：障害理解のための医学・生理学、東京、明石書店、2007、24-63、182-187

宮本信也：第4章 6. 知的障害、中村満紀男・四日市章編著：障害科学とは何か、東京、明石書店、2007、150-153

## 2、著書

宮本信也：第Ⅵ章 保育施設や学校から虐待についての相談を受けたら、第Ⅸ章 Munchausen syndrome by proxy ー子どもを代理としたミュンヒハウゼン症候群ー、桃井真里子編著：小児虐待医学的対応マニュアル、東京、真興交易医書出版部、2006、95-100、120-124

宮本信也：摂食障害、別所文雄編著：これだけは知っておきたい小児医療の知識、東京、新興医学出版社、2006、413-418

宮本信也：子ども虐待の理解と対応. 福祉心理学研究 3(1) : 1-7, 2006

## 山田不二子

### A、誌上発表

#### 1、論文

山田不二子、田中真一郎、彦根倫子、工藤久美子、林節子、定永千寿子 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)の予防プログラム, 子どもの虐待とネグレクト (投稿中)

### B、口演

#### 1、学会発表

山田不二子、田中真一郎、彦根倫子、工藤久美子、林節子、定永千寿子 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)の予防プログラム, 日本子ども虐待防止学会 第13回学術集会 みえ大会

## 柳川敏彦

### A、誌上発表

#### 1、論文

柳川敏彦：虐待発生予防のための保健活動 ー欧米の動向からー, 保健の科学, 第49巻第1号, 47-53, 2007

柳川敏彦：医療ネグレクト「どう関わるか子ども虐待」, 小児科臨床, 第 60 巻第 4 号, 633-641, 2007

## 2、著書

柳川敏彦：Ⅱ. 児童虐待問題の国際比較「虐待による子どもへの影響」：古橋エツ子編：家族の変容と暴力の国際比較, p 99-116, 明石書店, 2007 年 1 月

## B、口演

### 1、学会発表

北野尚美、中村安秀、柳川敏彦、吉川徳茂：アジア的視点に立った児童虐待予防のためのアジアの隣人ネットワークの成果報告. 第 110 回日本小児科学会学術集会, 京都 2007. 4 月

前馬理恵、柳川敏彦、山田和子、内海みよ子、石井敦子、北野景子、平尾恭子：児童虐待防止ネットワーク構築と評価への支援 - 3 年間の取り組みより - . 第 54 回日本小児保健学会, 群馬 2007 年 9 月

北野尚美、柳川敏彦、吉川徳茂、中村安秀：地域医療における子ども虐待対応モデルの提案 - 病院-診療所連携システムと地域連携室が結ぶネットワーク - . 第 54 回日本小児保健学会, 群馬 2007 年 9 月

北野尚美、柳川敏彦、中村安秀、平尾恭子、吉川徳茂：日本人家庭における親から子への不適切な行為に関する研究. 第 13 回日本子ども虐待防止学会, 三重 2007 年 12 月

石井敦子、柳川敏彦、前馬理恵、山田和子、内海みよ子、北野景子、平尾恭子：市町村における児童虐待防止ネットワークの機能評価の試み. 第 13 回日本子ども虐待防止学会, 三重 2007 年 12 月

### 2、一般講演

柳川敏彦：医療における児童虐待予防 虐待問題に対する医師の意識向上と医療システムの構築. シンポジウム 児童虐待の現状と医療の役割 - 医療ができること・すべきこと - 第 27 回日本医学会総会, 大阪 2007. 3 月

柳川敏彦、坂井聖二：医療ネグレクト. 第 2 回イブニングセミナー 子ども虐待を学ぶ ネグレクトと事例（非器質性成長障害と医療ネグレクト）からの検討. 第 110 回日本小児科学会学術集会, 京都 2007. 4 月

柳川敏彦：子ども虐待を考える - 医療ネグレクトの対応について - 学術講演 西讃小児科医会学術講演会 丸亀市 2007 年 8 月

柳川敏彦：児童虐待防止について地域でできること - 医療機関の役割 - 学術講演 第 6 回新宮小児医療連絡会 新宮市 2007 年 8 月

柳川敏彦：⑤保健機関と医療との連携の実態と課題 - 実践 - シンポジウム 子ども虐

待予防のための保健・医療の連携強化 第54回日本小児保健学会, 群馬 2007年9月

Toshihiko Yanagawa : Japanese Medical Practice and the Prevention for Child Abuse and Neglect -Improvement of Awareness among Medical Doctors and the Establishment of a Medical System to Deal with Child Abuse and Neglect-. Symposium 7th ISPCAN Asian Conference, Manila 2007. 9

Toshihiko Yanagawa, Naomi Kitano, Yasuhide Nakamura : Construction of the Asian Network for the Prevention of Child Abuse and Neglect - Child Abuse and Neglect in Asian League (CANAL) Project- International Symposium Child rearing in Asia Lessons learned from Child abuse and Neglect. 13<sup>th</sup> JaSPCAN Annual Meeting, 2007.12

## 渡辺好恵

### A、誌上発表

#### 1、論文

渡辺好恵：周産期医療と虐待予防－保健機関との連携のポイント－. 小児科臨床, 60(4), 791-796, 2007.

中板育美、但馬直子、渡辺好恵他：「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の方向性. 子どもの虐待とネグレクト, 9(3), 384-393, 2007.

### B、口演

#### 2、一般講演

渡辺好恵：養育支援が必要な事例の早期発見と介入～地域保健の役割～. 母子保健研修(虐待対策編), 宇都宮, 2007. 6. 22

渡辺好恵：子ども虐待と在宅養育支援の方法について. 埼玉県在宅保健活動者の会研修会, さいたま市, 2007. 6. 14

渡辺好恵：気になる母親(?)への在宅養育支援の方法－初期介入と支援計画の策定－, 全国保健師長会富山県支部研修会, 富山市, 2007. 6. 16

渡辺好恵：児童自立支援施設において性教育を行う意味, 平成19年度関東地区児童自立支援施設協議会自立支援員研修, さいたま市, 2007. 7. 4

渡辺好恵：今どきの子育て事情と子育て支援～養育支援等家庭訪問事業から見えること～. 子育てヘルパー養成講座, さいたま市, 2007. 7. 3

渡辺好恵：子ども虐待防止と看護職者の役割－発生予防の観点から－. 家族看護学, 越谷市, 2007. 10. 16

渡辺好恵：子ども虐待予防への対応, 平成19年度さいたま市子ども虐待防止フォーラム, さいたま市, 2007. 11. 7